

花きの県別生産出荷概況(11月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	11月出荷見込み 千本		主産地	11月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
アルストロメリア	山形県	9.6 (95%)	レベッカ、オルガ、レモン、アバランジェ、ブッチーニ、エベレスト他	372 (109%)	172 (99%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	35	30	35
ストック	山形県	42 (98%)	アイアンシリーズ、カルテットシリーズ、雪波、朝波 他	1,840 -	1,430 -	庄内地域 村山地域	30	35	35
	秋田県	4 (120%)	雪波、朝波、アイアン系、ホホワイトコランダム	846 -	417 -	JAうご JAこまち	25	45	30
	千葉県	40.6 -	カルテットシリーズ、アイアン系	154 -	98 -	館山市(神戸、西岬)、南房総市(白浜の長尾、千倉、丸山、和田)、鴨川市、君津市、袖ヶ浦市	5	20	75
菊	秋田県	32.3 (110%)	精の一世、岩の白扇、精の曲、スーパーイエロー、精妃、神馬	7,400 -	3,400 -	秋田やまもと 秋田みなみ 秋田しんせい 秋田おぼこ 秋田ふるさと	40	40	20
	愛知県	- -	神馬、精興の誠、精の一世、精興光玉、精興光明 他	22,000 (98%)	13200 -	愛知みなみ ひまわり 西三河 あいち知多 愛知西	35	30	35
	大分県	1.6 -	晃花の富士、神馬	575 -	-	杵築 蒲江	-	-	-
	宮崎県	34.8 (90%)	優花、岩の白扇、文化の旭、夏光花、神馬等	410 (77%)	- -	国富 都城 こばやし えびの市 尾鈴	25	35	40
トルコキキョウ	秋田県	10.8 (104%)	ロジーナシリーズピッコロサシリーズ セレモニーシリーズ他	2,098 -	965 -	かつの、秋田しんせい 秋田おぼこ、おものがわ 秋田ふるさと こまち	40	30	30
	群馬県	- -	ボレロホワイト ボレログリーン リネーションピンク キングオブスノー	85 (100%)	78 (100%)	邑楽館林 太田市 あがつま 甘楽富岡	30	40	30
	千葉県	1 (100%)	ボレロシリーズ セレモニーシリーズ	100 (100%)	72 (100%)	館山市	50	30	20

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	産地によっては、8月～9月の高温の影響で花茎の発生がやや少なく、11月の出荷数量は平年並～やや少ない見込み。切り花品質は、概ね良好である。	現状 高冷地に関しては秋田、福島を中心に減少傾向ではあるが比較的安定した出荷が続いた。西南産地は福岡が本格出荷となり安定出荷。静岡、熊本、大分も出始め、販売面では上旬はプライダル需要中心に活発な取り引きであったが小売店の動きは落ち着いており徐々に相場を下げる状況となっている。
		見通し 高冷地は出荷終盤となり減少傾向。主力は西南産地となり福岡は生育も良く安定出荷が続く見込み。また静岡、熊本、大分と本格出荷へ向かい増加、高知も出始める見込み。販売面ではプライダル、業務需要主体の動きとなり比較的安定した取り引きが見込まれる。
		大田花き FAJ 長野・山形より安定した入荷が見込まれる。気温が高めの予想のため、まとまった入荷。 第一花き プライダル・業務需要中心の流れ、特に需要もない時期で、厳しい販売。@80 <small>東京フラワーポート</small> 東日本板橋花き 相変わらず引き合いも良く、堅調な取り引きが見込まれる。 世田谷花き 愛知、青森中心の入荷、引合いなく業務中心の動き。 世田谷花き 各産地ハウス中の加温が始まり、量は安定する見込み。持ちも良くなり、需要も見込める。
	ストック	生育は、雪波やカルテットシリーズ等は平年並であるが、アイアンシリーズ等は高温の影響等によりやや遅れている。切り花品質について、上旬出荷では切り花長がやや短いが、その後は概ね良好の見込み。
うご:11月中旬くらいにピークとなり、日量250～300ケースくらいと見ている。生育は順調。		見通し 山形産が徐々に増えてくる見込み、千葉産は中旬以降開始。価格面では数量増える下旬に落ち込む見込みだが全体的に安定販売が見込まれる。
10月中旬現在、生育は順調。JA安房(南房地区)、神戸、西岬とも11月中旬から共選出荷を開始予定。JA安房ストック部会は11月中旬に、JA安房神戸は11月11日出荷査定会を予定し、出荷規格の確認を行う。		大田花き FAJ 山形、福島より本格的な入荷となる。気温次第で変動あるが、潤沢な入荷の見込み。 世田谷花き 山形・福島等から各色入荷。生育は順調。 <small>東京フラワーポート</small> 2L、Lクラスも増え、業務、プライダル等、引合い多い。
菊	露地菊はほぼ終了。11月以降は神馬、精の一、精興シリーズ、山陽黄金等がメインの出荷となる。	現状 10月前半に関しては、冷え込みや台風などの影響で品薄となり端境期となつてしまい、需要に対して入荷が少ない状況で品薄単価高となる。中下旬に関しては入荷も徐々に安定し需要も落ち着くので引き合いは落ち着いた物となる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・現状出荷量:5,200千本/週(10月中旬実績) ・夏秋菊が10月一杯でほぼ終了。一部優品扱いで精の一が残る。 ・冬菊中心の出荷となるが、全体的に作付量は多くない時期。 ・特に10日あたりの出荷量減が見込まれる。 	見通し 月を通して特別大きな需要無く小売中心の引き合い。価格帯に関しては、上旬に関しては各地入荷量マチマチな状況で全体的に見ると特別多くは無い状況。引き合いに関しては、大きな需要無い為価格帯は落ち着いた物となる見込み。中下旬に関しては、各地秋冬菊中心に徐々に増加傾向。引き合いに関しては、上旬と同様大きな受容無くやや落ち着いた物となる見込み。
	生育はサビもなく順調。例年並み。12月出荷分は170万本程度	大田花き FAJ 白:品種が神馬、精興の誠など冬菊中心。黄:沖繩の出荷が始まる。 第一花き 業務需要中心の流れ、需要も減少し厳しい販売。@60
	端境期となり、数量は少ない。神馬は出始めているが、完全に切り替わるのは中旬以降。曇天・高温の影響により、規格がL、M多くなる。	世田谷花き 夏秋系から、秋系に品種が切り替わる為、入荷は平均並み。単価は業務中心。 <small>東京フラワーポート</small> 特に大きな需要もなく業務需要が主流の取り引き
トルコキキョウ	おぼこ:ピークが終わり、日量あっても200ケースくらいになる。こまち:この先の天候にもよるが、11月以降10万本くらいは出荷できる見込み。	現状 高冷地に関しては秋田、福島を中心に減少傾向ではあるが比較的安定した出荷が続いた。西南産地は福岡が本格出荷となり安定出荷。静岡、熊本、大分も出始め、販売面では上旬はプライダル需要中心に活発な取り引きであったが小売店の動きは落ち着いており徐々に相場を下げる状況となっている。
	生育は順調。定植時期の高温の影響で草丈短い品種が多く見られる地域や、8月(定植後)の日照不足の影響により、茎が細くボリュームが少ないものも見受けられる地域もあるが、大きな障害の発生はない。	見通し 高冷地は出荷終盤となり減少傾向。主力は西南産地となり福岡は生育も良く安定出荷が続く見込み。また静岡、熊本、大分と本格出荷へ向かい増加、高知も出始める見込み。販売面ではプライダル、業務需要主体の動きとなり比較的安定した取り引きが見込まれる。
	9月の日照と高温の影響で開花が1～2週間程度前進。出荷ピークは11月上旬。JA安房神戸は10月上旬から出荷が始まっている。	大田花き FAJ 暖地である九州、静岡の出荷が始まる見通し。引き続き、業務需要中心の引合い。やや品薄。 第一花き 業務需要・プライダル中心の販売、品種による単価差はでる。 @120
		<small>東京フラワーポート</small> プライダル、イベント需要等に向けて引き合い多くなる。 東日本板橋花き まだプライダルの需要が強く、高冷地が早めに切りあがる為、まだ強持合が続く。 世田谷花き 熊本・福岡・千葉などから、八重系中心の入荷。